

改良した調節彎曲値により噛める義歯・落ちない義歯を確実に作る！
咬合平衡が向上する人工歯排列・歯肉形成のポイントを全公開！

チェアサイド・ラボサイドで共有したい

咬合平衡が向上する コンプリートデンチャー製作法

調節彎曲値の改良と歯科技工

渡邊 清志 著

- 高齢社会はさらに進行して、わが国高齢者が必要とする義歯の総数は今後20年間で現在の1.5倍に増加すると推測されています。それだけに、無歯顎となった患者さんに対して、審美・咀嚼・嚥下・発語機能を回復し、快適な食生活を取り戻すことのできる、装着感の良好なコンプリートデンチャーを提供することは、今後ますます求められることとなります。
- 良好な咬合の回復による義歯の維持・安定のためには、印象採得および咬合採得の精度的向上はもちろんのことですが、人工歯排列時の中心咬合位における咬合接触状態と偏心滑走運動時における片側性および両側性咬合平衡を高いレベルで与えることもまた重要な要件となります。
- 本書では、片側性および両側性咬合平衡を向上させるための臼歯部人工歯排列を中心に、義歯の維持・安定に重要な役割を果たす歯肉形成の要点、そして義歯の維持・安定にとって重要な前提条件となる印象採得および咬合採得の要点を豊富な写真によってわかりやすくまとめています。特に、両側性咬合平衡を合理的に求めるための調節彎曲値を改良した人工歯排列テクニックは必読！

C O N T E N T S

序章 咬合平衡について

第1章 咬合平衡が向上する印象採得

1. 概形印象
2. 機能印象

第2章 咬合平衡が向上する咬合床・咬合採得

1. 咬合採得の意義
2. 咬合床の製作
3. 咬合採得の手順と要点(片側性咬合平衡向上への対応)
4. 特殊装置を用いた顎位の決定と顎路傾斜角の調節
5. 咬合採得後の咬合器上での咬合床の修正
6. 咬合採得後の咬合床と人工歯排列の関連

第3章 咬合平衡が向上する人工歯排列・歯肉形成・レジン重合

1. コンプリートデンチャーの咬合様式
2. 人工歯排列
3. 両側性咬合平衡を向上させる蠟義歯時の選択削合
4. 歯肉形成
5. フラスク埋没と重合工程の重要性

◆蠟義歯の完成状態および重合義歯の削合完了状態

フルバランスドオクルージョン

両側性咬合平衡型リンガライズドオクルージョン

◆上下顎コンプリートデンチャーの人工歯に出現する咬合小面

フルバランスドオクルージョン

両側性咬合平衡型リンガライズドオクルージョン

付章 研磨・口腔内咬合調整

1. 仕上げ研磨
2. 口腔内での咬合調整および予後の状態



A4変判

136頁／オールカラー

定価5,670円

(本体5,400円+税5%)

ISBN978-4-263-43336-2

医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633 <http://www.ishiyaku.co.jp/>